



# ERFC Newsletter

ユーノスロードスターファンクラブ通信 2022 vol. 2

## E. R. F. C. 清里ミーティング報告号

### 『ER.F.C.おはよう清里ミーティング』へのご参加ありがとうございました

昨年11月12日、3年振りかつ変則開催となった「おはよう清里ミーティング」は、多くの参加者をお迎えして無事開催することができました。年が明けてしまいましたが、ご報告のプレスをお送りします。

まずは会長からのごあいさつ。(以下、昨年のうちに書かれた原稿であることをお許しください)



まだ第8波が来るとか来ないとかいつまで経ってもぜんぜん安心できるようになりませんが、ようやく今年は清里に集まることができました。久しぶりにみなさんにお会いできて楽しかったです。まだ屋内でやるのはちょっと心配ということもあり、いつもと違う形にしてみました。やってみたら天気がよかったこともあってこーゆーのんびりしたイベントも悪くないなと思いました。午前中だけのはずなのに意外と時間がゆったり流れてて、でも終わってみるとあっという間でちょっとさみしいような。今回はいつもよりみなさんとたくさんお話

しできたような気がします。みなさんはいかがでしたか?とにかくいい天気でホントによかった。天気のせいか帰りの渋滞はひどかったですけどね。またお会いできることを楽しみにしています。

(ひでまる)

続いては、スタッフからのイベント報告のひとつふたこと。

#### 「自走式受付」

入場ゲートの赤帽子、こと、受付担当のつものやまです。

3年ぶりの開催・・・しかも清里ミーティング史上初の「自走式受付」・・・えーとえーとナニをどうしてドウすればいいんだっけ???

過去30回の開催で培ったノウハウなんざ綺麗に吹っ飛び、あばばばと当日まで至ったために異様なハイテンションで皆様をお迎えする羽目になりました・・・びっくりさせてごめんなさい・・・。すっ転んで色々ブチ撒けたり、皆様の愛車にぶつかったりせず済んだので本当に良かったです・・・。

個人的には、未だコロナ禍収まりきらない中のイベントに不安な気持ちもあったのですが、受付で見た皆様の笑顔と、会場で楽しそうにロードスターを見て回る姿に「やっぱ、やって良かったんだな」と。そこでようやく心がストンと落ち着きました。

終了時間になり、帰っていくロードスターの列が消えて振り返ると、何もなかったように子供たちがはしゃぎ回っていて。まるで夢でも見ていたような、あっという間のイベントでしたが、それでも「清里ミーティング・・・もうちょっと続けても・・・いいかも」と思わされた一日でした。

来年開催できるのか、またイベントを違う形にするのか、まだ何にもわかりませんが、その時は平常心でお会いできるかと・・・うーん、たぶん・・・？

まあ自分のことはともかく、ずらりと並んだロードスターたちを笑顔でゆっくり愛でられるような、平和で元気な時間が持てる世の中であってほしいと思います。どうか人も車も健康第一でお過ごしくださいね。

(つの@にし)

## 「2022年は【扇(おおぎ)】でした」

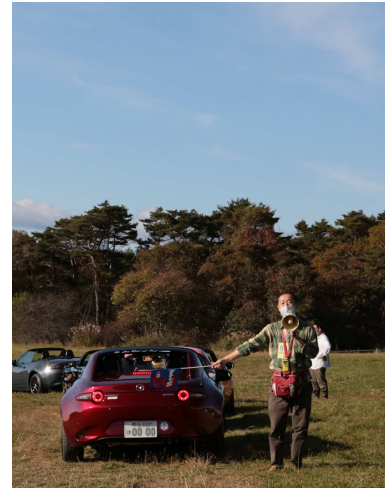
「今年はナナメ45度じゃないのか」、「な～んだ、今年の駐車の方は普通だね」。夢の中で参加者からそんなことを言われて、うなされて飛び起きた・・・。なんてことはありませんでしたが、そんなことを言われるんじゃないかと、人知れず勝手に思い悩んでいました。今年の駐車の方は直前までごく一般的な止め方を予定していました。というのも今年の駐車スペースは、いつもの場所ではなくずっと奥まった、比較的平坦な場所に変更されたからです。

理由はいつもの駐車スペースに牧場ができたためです。コロナ渦での臨時開催、しかも午前中のみですからそんなに凝った止め方をする必要はないんですが、駐車場コーディネーター(勝手に名乗ってます)としては「何か変わったことをやりたい、しかもカッコよく」と思っていました。

そこでいろいろ考え、前日の昼に突然思い付いたのが「扇(おおぎ)」でした。長さ50メートルの「特製スズランテープ・コンパス」を使って、10メートル間隔でスズランテープで弧を描き、1台分のスペースである3メートルの印を100台分付けていく。前日の日没寸前までスタッフ総出で作業しました。おかげさまで当日はロードスターが綺麗に弧を描いて止められ、何名かの参加者からお褒めの言葉を頂きました。まあ100台足らずの小規模ミーティングならではの贅沢な止め方ではありますが、喜んでいただけてホッと胸をなで下ろしました。

次回はまだどうなるかわかりませんが、開催が決定しましたら清里でお会いしましょう。

(駐車場係・まえだ)



## 「牛さんとの葛藤(今回は回避)」

駐車場係をしている長谷川です。新型コロナに振り回されて3年が過ぎ、清里ミーティングも開催出来るのか否かとスタッフ内でも意見が割れる年月でした。

各地でミーティングが復活していた中、清里はどんな形のミーティングをすれば良いのか？皆で検討した結果のおはよう清里はいかがでしたでしょうか？

昨年だったか、例年停めていただいていた場所に牛さん(当日は居ませんでした)のエリアが出来てしまい、今回自分は清里ミーティングのひとつ月前、M2ミーティングに参加するついでに清泉寮現地調査員として、牧草地へいつも通り止められるか、ダメならどうするか？とひでまる会長と和田さんと清泉寮の方と打ち合わせをしたのでした。結果、いつもと同じ誘導だと牧草地へのアプローチも狭いし厳しい、昼間は観光客が多く集まることから牛さんエリア近くは無理と、奥地へと変更しようとなりました。駐車エリアに決めた奥地は平坦で、入場口からのアプローチも問題なさそう、ただ調査時は草の背が高くそれが心配でしたが清里ミーティングの一週間前に清泉寮のイベントが開催されるとのことで、ある程度の手入れと人が入ることによって解消されるだろうとのことでした、後心配なのはこのイベントの時に雨降るとグチャグチャになって荒れると嫌だな～と、自分的には天気予報が二週間分気になってしまいました。後はどうなるか、それは駐車プランのプロ、前田さんに任せるとして自分は精一杯フォローして走り回りました。駐車誘導してる際に車の目の前に立って誘導してる危険ですよとのご指摘も受けました、この辺は信頼関係にはなるのですが、十分とは言えないですが自分の中の安全マージンは取っているつもりですが、ご指摘ありがとうございます。

そうそうあの牛さんエリア、当日は居ませんでしたけどいつもは朝、日の出頃に牛舎から出勤？してき

て、午後3時頃に退勤？して行くのだそうで・・・通退勤経路は今回皆さんが入退場していただいたゲートから、つまり例年清里ミーティングが終わるころに牛さん達も退勤時間で重なってしまうことが解り、今回昼間で開催となった理由の一つでした。何はともあれ、いつもと違う今回の清里、問題点、反省点、解決出来ること出来ないことを整理して、来年も皆さんとお会いできますように。ありがとうございました。

(なみ)

## 「WEB 担当便り(?)」

当日は入退場の誘導を担当している和田です。

たまにしか更新されないWebのメンテナンス等も細々とやってます。

さて、今年の参加申し込み受け付けですが、長らく続けてきたメールまたはハガキでの受け付けから、今年はフォーム入力に大きく変えてみました。

毎年記載項目に抜けや不備のある方が少なからずいらっしやるので、入力時点で不備の起きにくい仕組みを導入してみようじゃないかという思惑だったのですが、画像認証が出てきて驚かれた方もいらっしやるんじゃないかと思います。(フォーム側の設定で回答内容のコピーをメール返信する様になると、画像認証が必須になってしまう様です。)

すべてのスマートフォンやPCの入力環境を事前にテストすることはできないので、もし使い勝手が悪いと感じられた方は、宜しければ今からでも一言コメント頂けると嬉しいです。

次回以降の改善に活かせればと思っています。

(わだ)

## 「スタッフにやさしい?!」

入場ゲートの赤帽子の「手下」こと、受付担当“補”のつのやまです。

今年、あえて「おはよう」と名付けた清里ミーティングは、結果的にスタッフにやさしい開催になりました。お陰様で。

お弁当は用意しませんよとか、ホールイベントやりませんよとか、色々変えたところがあるのもそうなのですが、お昼におしまいになって、皆さんすいすいお帰りいただいたところが、何よりもスタッフに一番優しい開催になったなあと思う所以であります。

例年(といいつつ3年前?)ですと、日が傾きかけて風に冷たさを感じ始める頃にお開きになりますから、片付けが終わるころにはもう暗くなり始めてます。

そこから夕飯食べたり帰ったり、あるいは風呂入ったり飲んだり飲んだり・・・えっと・・・夜がすぐ終わっちゃうのです。疲労を抜くことを考えて後泊してるにも関わらず、却って疲れたり、飲みすぎて疲れたり・・・違った、とにかく夜があつというまにやってくるので慌ただしいんです。

ところが今年は、皆さんのろどすがいなくなった牧草地に立って、一番最初に思ったのは・・・

「おれは、腹が、減った・・・」

じゃなくって、あ、いや、それもそうなのですが、それよりなにより、まだおひさまが頭の上にあるのです！もうびっくりです。

だから、そこからのんびり片付けして、軽く反省会しても、まだ遅めのランチにありつけるじゃんってなもんでした。なので、そこから夕飯までの時間の長いこと長いこと。お陰様で、心ゆくまで八ヶ岳や遠くに見える富士山を眺め、ひたすらぼおっとできる清里なんて、もう至福以外の何物でもありません。

いやありがたい。もう来年以降もこのスタイルでいいんじゃないの？ってまじめに思ってます。

それにしても、良い天気でしたね。ろどすたを並べていただいた牧草地の奥の方は、子牛用の柵に占領された例年の場所より傾斜が緩いせいか、アウトドア用の椅子を用意した方にはもってこいでしたね。実は物色中の自分は何人かのかたに座らせていただいたのですが、おかげで更に混迷を深めてまだ





迷っていることをご報告いたします。選べない・・・

そんなこんなも含め、あの場所ホントにいいですね。

ただ、ホール遠くなっちゃうんですよ。うーん。ホールイベントやらないとダメですか？え？天気？雨降ったら？雪降ったら？

うーん、そうねえ。。そしたらお休みってどうですか？あ、だめ？うーん、、、

まあ、来年のことはまたゆっくり考えことにして、もうしばらく至福の清里に浸らせて下さい。ほんとに気持ちよかったです。

ちなみに、もう日が暮れる！っていう寸前の八ヶ岳のシルエット・・・サイコーっすから、ぜひ一度。ほんとオススメ。

改めて、やっぱり清里っていいなあ・・・そう一番感じているのは我々スタッフなのでは。だから多分来年も、ね。

ではまた。

(つのがやま@抽選したのは私じゃないよ)



以上、スタッフのあれこれでした。

## 『編集後記』

『おはよう清里ミーティング』にご参加の皆さん、ありがとうございました。

何にもしない清里ミーティングはいかがだったでしょうか。

他のスタッフも書いているように、3年ぶりの開催決定までは紆余曲折がありました。

スタッフの誰もが開催したいという思いを持ちながら、それでもまだコロナ禍が終息したと言えない今、再開することが妥当なのか。仮に再開するにしても今までの会場・イベント・参加人数での開催は可能なのか、とそれぞれに葛藤しギリギリまで意見しあったうえで達した結論が、「おはよう清里ミーティング」としての開催でした。

そのため従来と比べると直前の告知となってしまう、また内容的にもただ駐車場を提供するだけのイベントになったことから、スタッフ間でも例年ほどには集まらないんじゃないかとも思っていたのですが、ふたを開けてみればこれまで一番多くの参加申込みをいただきました。予想外の驚きと同時に、みんなこの時を待っていてくれたんだとの嬉しさもありました。(抽選に漏れてしまった皆さんすいません！無作為とは言え、抽選したのは・・・)

そして「清里でお会いしましょう！」と普通に言えるのがなんて特別なことか！

イベント前日。牧草地での準備作業を始めながら「戻ってきたんだ」との思いを噛みしめていました。

そして当日。これ以上ない好天の下、特に早く着いたからと言って特典があるわけでもないのに(コラ)受付開始前にはすでに入場待ちの列ができているのを見て、思わず涙が・・・は嘘ですが、ほんとに戻ってきたんだと(以下略)

さて、今年はどうしましょうか。ホールでのトークイベントを再開するか、それとも今回と同じ形式にするか。また時期が来ると悩むことになりそうです。

ともかく今年も開催したいですね。是非また、清里でお会いしましょう。

(E.R.F.C. 清里ミーティング実行委員長 兼 編集担当：まめぞう)



# ERFC Newsletter

ユーノスロードスターファンクラブ通信

## 2022 vol. 2

2023年1月吉日発行

EUNOS ROADSTER FAN CLUB 事務局；埼玉県上尾市井戸木4-22-22 角山方

E-MAIL: info@erfc.sakura.ne.jp URL: https://erfc.sakura.ne.jp